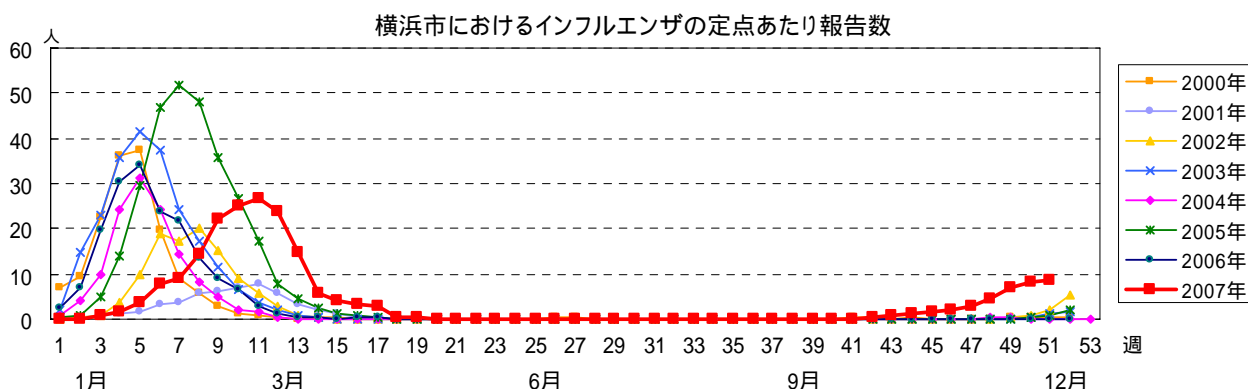


横浜市におけるインフルエンザ等の流行情報(その 8)

1. 感染症発生動向調査におけるインフルエンザの患者発生報告状況

(1) 患者定点医療機関からの患者報告状況

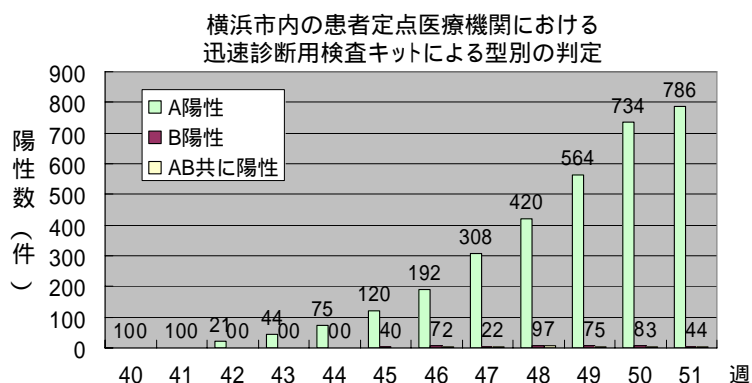
横浜市では、過去 6 年間の流行と比べて最も早い第 44 週(10/29～11/4)に、近隣の都県に先がけて流行期に入りました。その後も増加が続き、第 51 週(12/17～12/23)の患者定点医療機関からの患者報告数は 997 人、定点あたり報告数は 8.59 となっています。区別では、すべての区で流行の目やすとなる「1.0」を超えており、都筑(15.0)、磯子(14.0)、栄(13.8)、港北(12.1)、神奈川(11.0)、南(11.0)の 6 区で注意報レベルの「10」を超えています。逆に、これまで多かった瀬谷、青葉は減少してきています。



また、横浜市内の患者定点医療機関のご協力でご報告いただいた迅速診断用検査キットによる型別の判定をグラフに示しました。第 51 週までの累計で、A 陽性 3266、B 陽性 41、AB 共に陽性 23 の報告がありました。

全国でも、この 20 年で最も早く第 47 週に流行が始まり、第 51 週の定点あたり患者報告数は 7.18 と、さらに増加しています。

都道府県別では、佐賀県、長崎県、宮崎県を除く 44 都道府県で流行期に入っており、特に、北海道、青森県、埼玉県、千葉県、山梨県、静岡県、兵庫県、和歌山県、岡山県、広島県の 10 道県で注意報レベルの「10」を超えています。



全国および神奈川県、東京都の定点あたり患者報告数(総報告数÷報告のあった定点医療機関数)

	第 47 週 (11/19～11/25)	第 48 週 (11/26～12/2)	第 49 週 (12/3～12/9)	第 50 週 (12/10～12/16)	第 51 週 (12/17～12/23)
全国	1.53	2.30	3.98	5.68	7.18
東京都	1.44	2.28	4.73	7.10	8.81
神奈川県	2.63	3.86	6.48	8.73	9.95
横浜市	3.08	4.54	7.04	8.29	8.59
川崎市	3.06	4.43	7.61	9.62	12.92
県域(横浜、川崎除く)	2.07	3.05	5.57	8.78	9.96

(2) 学校等における集団かぜについて

市内の幼稚園、学校等からの集団かぜ等の報告は、例年より早く11月6日に始まり、12月7日までに施設閉鎖 1 施設(10 学級)、学年閉鎖 2 施設(8 学級)、学級閉鎖 7 施設(15 学級)となっています。累計では、幼稚園 5 校、小学校 3 校の計 8 施設になりました。区別では、旭(2 施設)、緑(2 施設)、港南(1 施設)、港北(1 施設)、青葉(1 施設)、都筑(1 施設)から報告されています。12 月 7 日以降は閉鎖の報告はありません。

全国の状況については、<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> をご覧ください。

2. 感染症発生動向調査等におけるウイルス検出状況

全国的には、ここ数年間は大きな流行が見られなかったAソ連型が多く検出されています。これらは、今シーズンから使用されているワクチンと類似株とされていますが、最近の横浜市の検査結果では、抗原変異したウイルス株が増加しつつあるので、今後注意が必要です。

インフルエンザワクチンについて(http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/influvaccine1.htm)

(1) 病原体定点の検体からのインフルエンザウイルス検出状況

月集計および週数	定点数	検体数	インフルエンザ検出状況					
			A 型				B 型	
			H1(ソ連型)		H3(香港型)		分離	PCR*
			分離	PCR*	分離	PCR*		
2007年10・11月集計(第43週～第48週)	16	45	16	3				
2007年第49週	6	15	5					
2007年第50週	3	9	8					
2007年第51週	6	16	3					
2007年第52週	6	13		1				

*:ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

(2) 学校等における集団かぜからのウイルス検出状況

発生週	区数	施設数	検体数	インフルエンザウイルス検出数					
				分離			遺伝子*		
				AH1	AH3	B	AH1	AH3	B
第45週(11/5～11/11)	1	1 小学校	4	2			(2)		
第46週(11/12～11/18)	3	1 小学校	1	1					
		2 幼稚園	6(1)	6(1)					
第49週(12/3～12/9)	2	1 小学校	2	2					
		1 幼稚園	3				(3)		

検体数、検出数の()内は保護者で内数です。

*:ウイルス分離はされていませんが、遺伝子検査で検出されたものを計上します。

()内の数字は、NA遺伝子(ノイラミニダーゼ領域の遺伝子)でN1のみ検出していることから推定しています。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報によれば、12月28日現在、全国の地方衛生研究所のインフルエンザウイルス分離状況は、AH1型525例、AH3型61例、B型8例です。<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data1j.pdf>

その他の感染症に関する情報は http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/infection_inf/ をご覧ください。